医学部

医学部は医学科と保健学科の2つの学科で構成され、医学科では医師を、保健学科では看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士の育成を通じて、社会に貢献することを目指しています。1970年に創設されて以来、6,500名以上の卒業生を送り出し、秋田県内はもとより全国各地で医療の最前線に立つとともに、医療界の様々な分野の指導者として活躍しています。

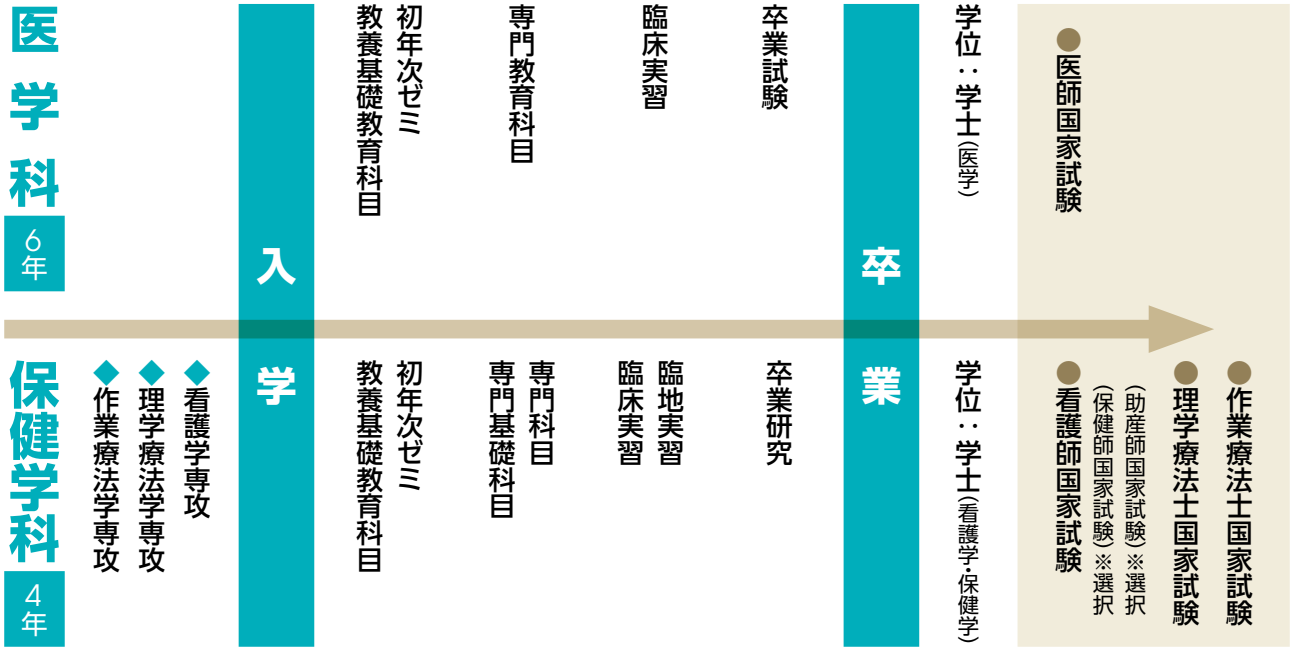
今、日本は激動の時代を迎えています。毎年のように各地で発生する地震や集中豪雨、新型コロナウィルス感染症等、人々の生活や健康が脅かされています。少子高齢化に歯止めはかからず、地方における医師・看護師不足がますます深刻化しています。こういう時代だからこそ、みなさんの力が必要です。皆さんとともに日本の医療・医学・保健・福祉に貢献できるよう、一緒に頑張りましょう。

■学部の構成（2学科）

【医学科】

医療に関する幅広い専門知識と高度な技術を身につけた人材を養成します。

【保健学科】

看護学・理学療法学・作業療法学の3専攻3講座を設けており、医療専門職（看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士）を養成します。

医学科	医学専攻の40講座と3つの臨床教育協力部門の教員が教育を担当する	
保健学科	専攻	教育担当組織
	看護学	●看護学講座
	理学療法学	●理学療法学講座
	作業療法学	●作業療法学講座